



プロジェクト名称

## 笑顔のまち なこそ復興プロジェクト

### プロジェクト活動概要

本プロジェクトは、福島県いわき市勿来(なこそ)地区を対象としています。この地区は、2011年3月11日に発生した東日本大震災によって発生した津波の影響によって大きな被害が出ました。そこで、私たちがボランティア活動等を行うことによって、勿来地区に住んでいる方々を笑顔にしていく活動をしていきます。また、私たちが勿来の活動を SNS 等で発信していくことにより、勿来地区と芝浦工大を繋ぐ架け橋になるような活動をしていきます。昨年度は、これから勿来地区に長く関わっていくための基盤づくりとして、ボランティア活動を中心に行ってきました。今年度は、ボランティア活動だけでなく、私たちが主体となって活動していくことで、地元住民に密着した津波被災地の復興活動を行いたいと考えています。

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2016年1月1日～3月31日

ダルマ市（2016年1月9日、10日）

「双葉町ダルマ市」とは毎年1月の第2土曜・日曜に行われる福島県双葉町の300年もの伝統を誇るお祭りです。震災による福島県第一原子力発電所の爆発事故の影響に伴い双葉町の96%が「帰還困難区域」に指定されているため、現在双葉町住民の多くの方がいわき市内の応急仮設住宅に住んでいます。そのため、震災の翌年からはいわき市南台応急仮設住宅のイベント広場で有志の方たちによって開催しています。ダルマ市には、地元の方だけではなく、大型バスで遠方からお祭りに来られた方もたくさんいました。お祭りではダルマの販売、クレープや焼き鳥などといった食べ物の販売、地域の方による手作りの小物の販売、演歌や大道芸、フラダンス、琴などの芸の発表などが行われ大賑わいでした。また今年は5年ぶりに復活した巨大ダルマ引きが行われました。町民・ゲストの方・お祭りに訪れた方達が大きなダルマを引き合い、一体となって楽しみました。

私たちは普段お世話になっている地元 NPO の方が屋台を出店なさるので、そのお手伝いを筑波大学の学生とともに行いました。寒い中お祭りを楽しむことができるようお祭りに来てくださった皆さんに屋台でお汁粉、豚汁、カレー、コーヒーを販売しました。

屋台のお手伝い中、お祭りに来場している被災にあわれた方とお話する機会が何度もありました。お話しする中で、このお祭りが続けられてよかったという声や、福島県から離れた埼玉県にある芝浦工業



大学からお祭りに来てくれてうれしいという感謝の声を聞くことができました。また、お祭りは仮設住宅内の広場で行われたため、仮設住宅の様子や実際に住んでいる人の様子を自分達の目で見ることができました。現地の方の声を聞くこと、仮設住宅の現状を見ることを通して、私たちがこの福島県で復興のために何ができるのか、何をしたらよいかを改めて考えることができました。

これからもこのようなイベントに参加していき、地域に住む人たちと交流を深めていきたいと思えます。



当日の様子

## 勿来の希望 2015～5 年目への祈り～（2016 年 3 月 11 日）

東日本大震災が発生してから 5 年目を迎えるにあたり、津波の被害を受けた小浜（おばま）海岸で行われた「なごその希望 2015～5 年目への祈り～」に参加しました。私たちのほかに、筑波大学の学生や地元住民の方など多くの方が参加しました。

午後には地元の方々と焚火を囲んだり歌を歌ったりすることによって交流することが出来ました。震災発生時刻である 14 時 46 分に全員で黙祷をし、犠牲者の方へ哀悼の意を捧げました。その後、トゥインクルアートや地面の電飾、沢山のキャンドルを設置し、夜に点灯しました。また、地元の方々にもキャンドルに火をつけたり置いたりしてもらいました。点灯をしている間、希望の花火を打ち上げも行われました。地元の方々から厳かな雰囲気を感じ、これから活動を通してより役に立ちたいと思いました。



当日の様子

## 大宮祭準備

私たちの活動をより多くの方に知ってもらいたいと思い、今年度から大宮祭に参加することを決めました。大宮祭では1つの教室を借りて、“ポスターによる私たちの活動紹介”、“岩間防災緑地完成イメージ動画の上映”、“模型作り体験”の3つの企画を行う予定で準備を進めています。今回初めての企画だったため、準備の段階から不安なこともたくさんありましたが、1人でも多くの方に私たちの活動について知ってもらいたい一心で準備を進めてきました。大宮祭への参加は私たちにとって、とても有意義なものになったと思います。



話し合いの様子





## 今後の活動計画、目標、意気込みなど

### 【予定】

#### ① ボランティア活動

1. 苗木採取（6月上旬）：勿来地区岩間町には新しく防災緑地が整備される予定になっています。そこに植える苗木を近くの山から採取するというイベントです。
2. 海と親しみ生命を守る水難事故防止のためのライフセーバー体験プログラム（6月下旬）：勿来地区岩間町に新しく整備される防災緑地には岩間海岸があります。岩間防災緑地を地域に溶け込みやすくするためのイベントです。ここでは日本女子体育大学の協力を受けながら、水難事故防止のためのレクチャーやビーチフラッグといった海に親しみを持ってもらえるような企画が行われます。私たちは、このイベントの運営のお手伝いをさせていただきます。

#### ② 「なこそ 未来マップ」

現地調査の結果を基に、飲食店の情報をまとめたり、景色の良い場所を地図上にプロットしたりしました。今後は地図の範囲の決定や地図のデザインの決定を行っていきます。

#### ③ 大宮祭への参加

私たちの活動や被災地の現状を多くの人に知ってもらうため、大宮祭へ参加します。ここでは、私たちの活動をまとめたポスターの展示や模型体験などを行っていきます。

### 【目標】

これからも私たちの活動の様子などを SNS 等で発信していくことによって、少しでも多くの人に被災地の現状や私たちの団体について知ってもらいたいです。また、私たちが情報を発信することによって、勿来地区と被災地外に住んでいる人と繋ぐ架け橋になっていきたいです。

今年 1 年活動してきて、私たちの活動の方針が決まってきました。今後は、これまで行ってきた活動を継続的に行うことによって、成果を出していきたいと考えています。